



まるごとまちごと ハザードマップのすすめ

平成31年4月
国土交通省 水管理・国土保全局

1. まるごとまちごとハザードマップとは

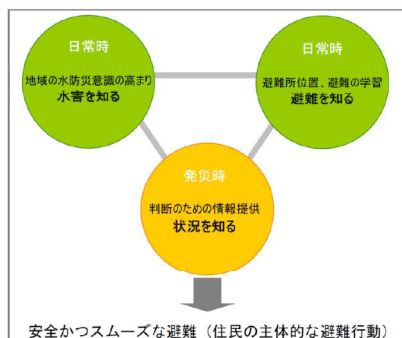
まるごとまちごとハザードマップ

自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間である“まちなか”に水防災にかかわる以下の情報を標示する取組

- 洪水・内水・高潮の浸水深に関する情報
- 避難行動に関する情報(避難所及び避難誘導に関する情報)

目的

“まちなか”に表示することにより、日常時から水防災への意識を高めるとともに浸水深・避難所等の知識の普及・浸透等を図り、発災時には命を守るための住民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限にとどめることを目指す



●洪水・内水・高潮の浸水深に関する情報例



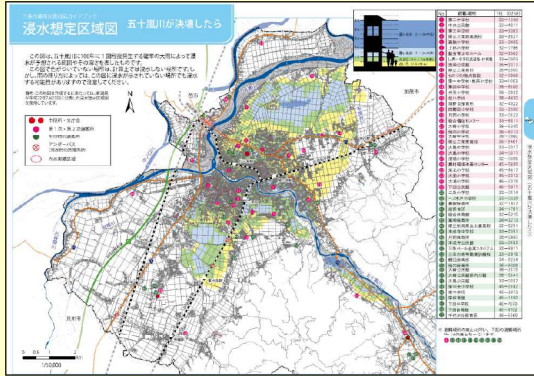
●避難行動に関する情報例(避難所及び避難誘導に関する情報)



1. まるごとまちごとハザードマップとは

水害ハザードマップの内容を、それぞれの地域で具体的に、臨場感をもって認識し、避難の実効性を高めるための工夫として、まるごとまちごとハザードマップを実施することは有効です。

水害ハザードマップ



○:メリット・△:デメリット

- : 自宅や勤務先などの知りたい場所の**浸水深**や近くの**避難所・避難場所**を確認できる
- : **アンダーパスや内水氾濫などの危険箇所**も確認できる
- : **避難に必要な多くの防災情報**について確認できる
「情報の取得方法」や「避難の目安」、「非常持ち出し品に関する情報」など
- : **防災教育や勉強会、避難訓練等で活用**できる
- △: **防災に興味がない人は、浸水深を確認するまでに至らない**可能性がある
(意識しないとハザードマップは確認されない)
- △: **浸水の高さをイメージしづらい**

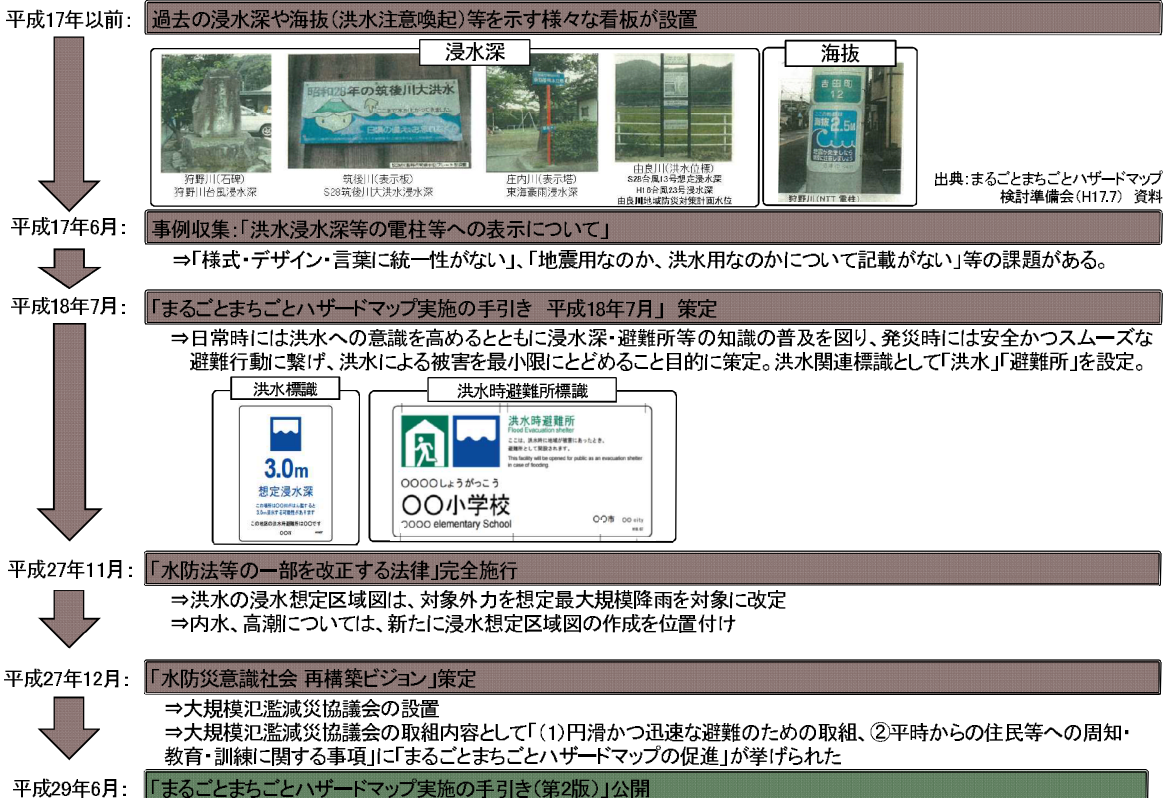
まるごとまちごとハザードマップ



水害ハザードマップの内容を、それぞれの地域で具体的に、臨場感をもって認識し、避難の実効性を高める

- : "まちなか"にあるので**無意識に目に入る**
- : 日常生活上で視認されやすく**防災に興味が無い人でも浸水深や避難所などの情報を知ることができる**
- : **浸水深を感覚的に理解**できる

2. まるごとまちごとハザードマップ手引き改定の経緯



3. まるごとまちごとハザードマップの実施状況

まるごとまちごとハザードマップ対象自治体は、1340自治体（H30.9末時点）ですが、そのうちの**181自治体（実施率13.5%）**で実施されている状況です。

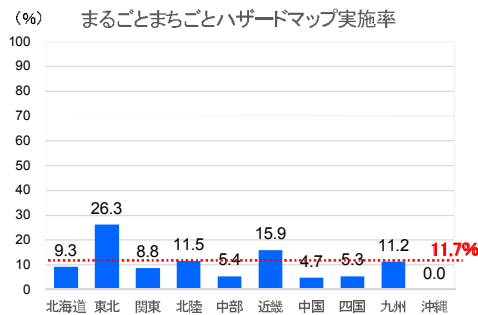
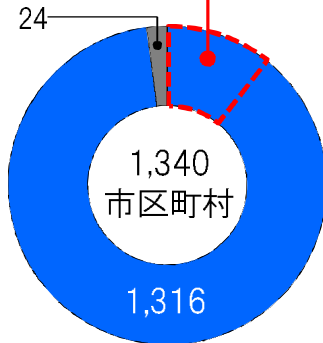
ハザードマップの作成・公表

- 国又は都道府県が指定・公表した浸水想定区域をもとに、市区町村が洪水予報等の伝達方法や避難場所を記したハザードマップを作成・公表
- 現在、ハザードマップ作成対象自治体1,340のうち98%にあたる1,316自治体が公表済（H30.9現在）

まるごとまちごとハザードマップの実施状況

- 現在、ハザードマップ作成対象自治体1,340のうち13.5%にあたる181自治体が設置（H30.9末時点）

<ハザードマップ公表状況>



設置事例
(茨城県常総市)

4. 取組促進の課題（自治体の意見例）

まるごとまちごとハザードマップ未実施自治体の「取組を実施しない理由、取組を実施できない」理由として、「**まるごとまちごとハザードマップの効果がよくわからない**」※という意見が挙げられています。

- まるごとまちごとハザードマップ実施が有効的な手法なのか分からないので、**実施による効果**を知りたい
- 洪水ハザードマップとまるごとまちごとハザードマップではどちらを優先して実施するべきか
- 実施するのはある一地域のみでもよいのか
- どのような場所に設置したら効果的か
- 設置による地域の抵抗感が心配

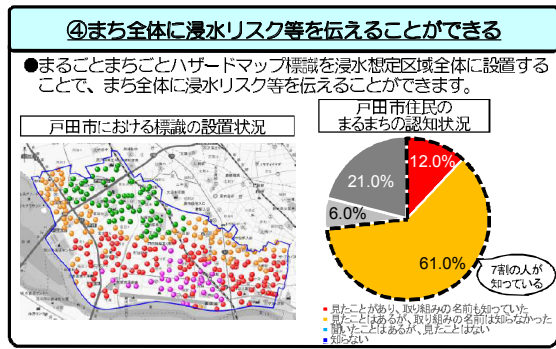
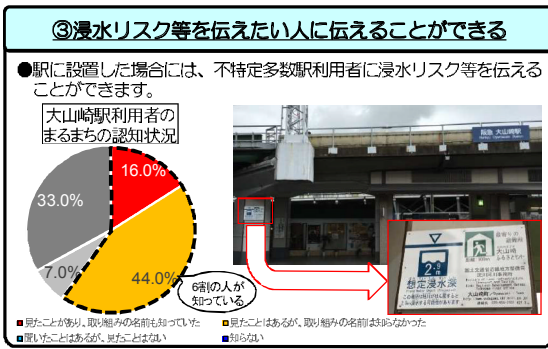
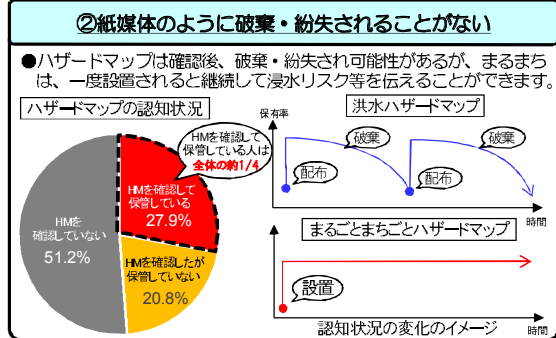
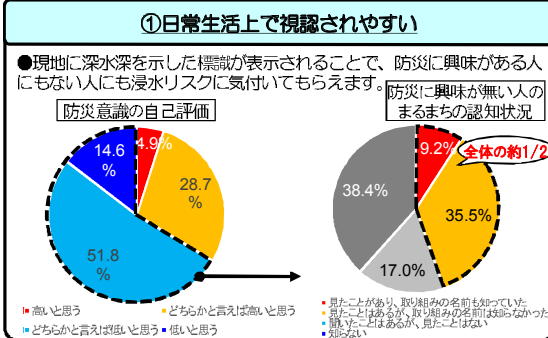


※平成27年度に実施した「まるごとまちごとハザードマップ」未実施自治体へのヒアリング意見より整理

課題（自治体意見）

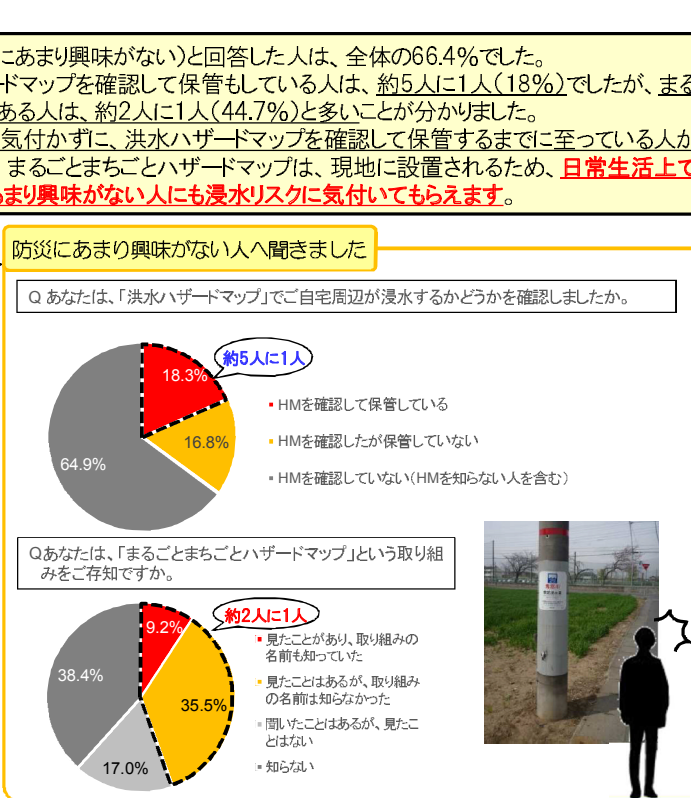
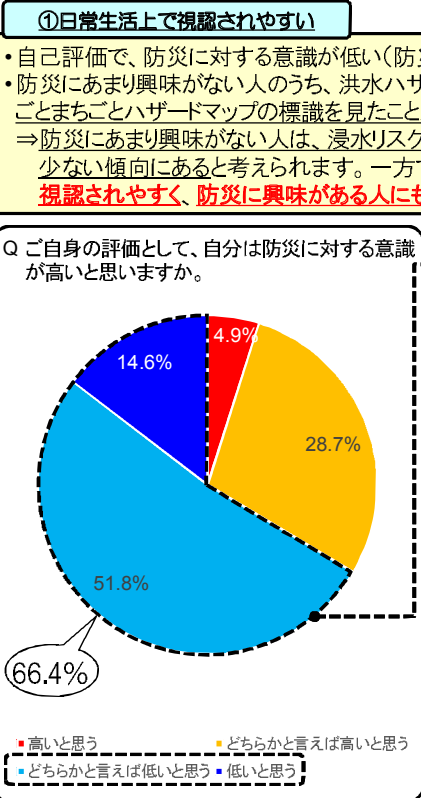
5. まるごとまちごとハザードマップ実施のメリット

住民へアンケート*を実施して、まるごとまちごとハザードマップ実施のメリットをまとめました。



*まるごとまちごとハザードマップを実施している13自治体（1300人）、駅、市役所等の公共施設利用者（700人）にまるまちなに関するアンケートを実施しました

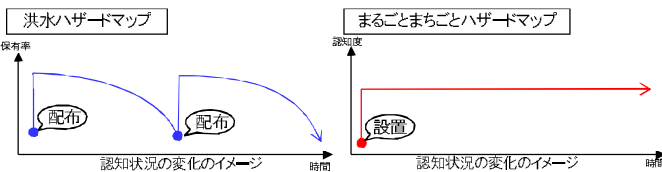
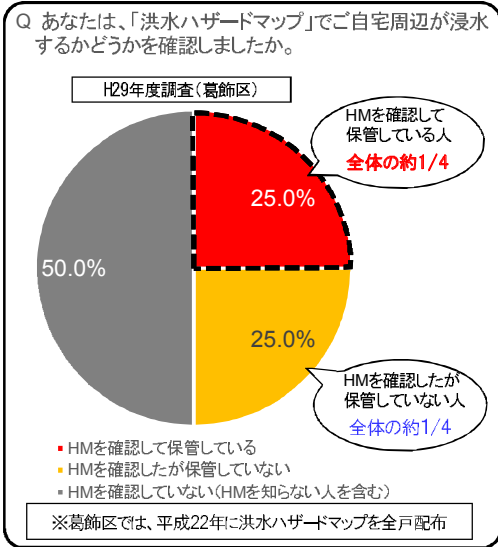
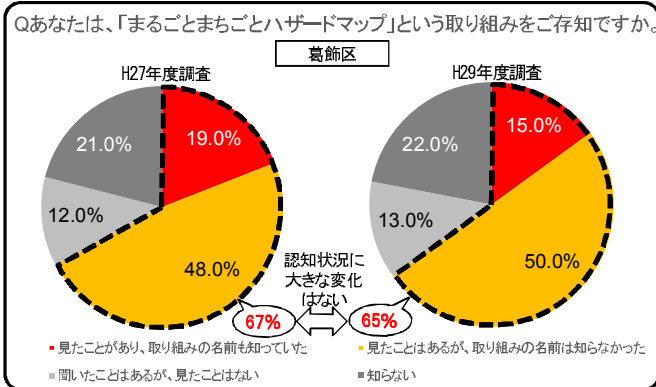
5. まるごとまちごとハザードマップ実施のメリット①



5. まるごとまちごとハザードマップ実施のメリット②

②紙媒体のように破棄・紛失されることがない

- ・まるごとまちごとハザードマップは、標識は設置後に破損等が無い限り設置されたままになっていることから、常に浸水リスクを表示することができ、認知状況にあまり変化はありません(例:葛飾区の認知状況の変化)。
 - ・なお、葛飾区の洪水ハザードマップの確認状況については、確認した人(全体の50%)のうち保管もしている人は25%で、約4人に1人がすぐに洪水ハザードマップを確認できる状態でしたが、残りの25%は洪水ハザードマップを保管しておらず、すぐに確認できない状況にあることがわかりました。
- ⇒洪水ハザードマップは、確認後に破棄・紛失される可能性があります。まるごとまちごとハザードマップは一度設置されると継続的に浸水リスクを伝えることができます。



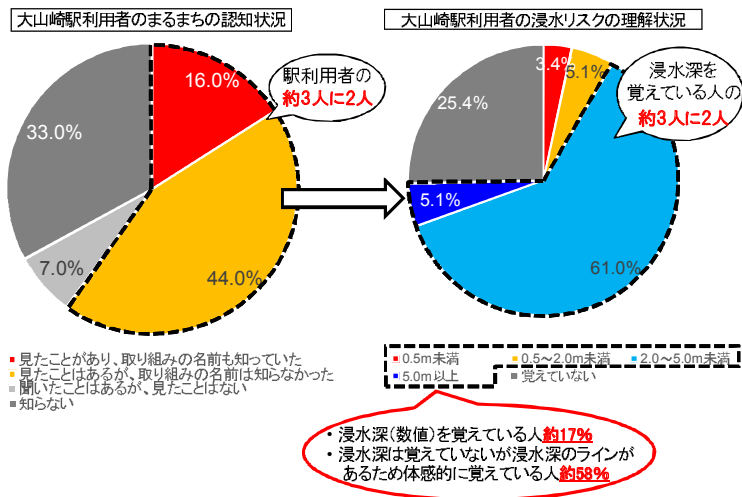
5. まるごとまちごとハザードマップ実施のメリット③

③浸水リスク等を伝えたい人に伝えることができる

- ・阪急大山崎駅を利用する人のうち約3人に2人(約60%)は、阪急大山崎駅に設置されているまるごとまちごとハザードマップの標識を見たことがあると回答しています。また、そのうちの74%の人は、駅周辺の浸水深を覚えています(数値は覚えていないが体感的に覚えていると回答したひとを含む)。
 - ・阪急大山崎駅では、2.9mの浸水深標識が設置されていますが、2.0m未満と低く覚えている人は約8%少なく、浸水深を覚え知る人のうち、約66%と約3人に2人は、浸水する際には、2.0m以上浸水する可能性があることを認識しており、浸水リスクを伝わっていることがわかりました。
- ⇒このように、駅に設置した場合には、不特定多数の駅利用者に浸水リスク等を伝えることができ、伝えたい人を明確にし、その人が利用する施設へ設置することで伝えたい情報を伝えることができます(例えば、地域の学生に伝えたい場合は学校等)。



※アンケートは、阪急大山崎駅に設置している標識の写真は見せない条件で実施しています。

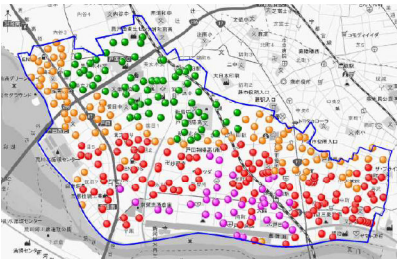


5. まるごとまちごとハザードマップ実施のメリット④

④まち全体に浸水リスク等を伝えることができる

- ・戸田市では、標識を浸水想定区域全体に数多く設置しており、**認知度は73%と高く、住民の約3人に2人は「まるごと」を知っていることが分かりました。**
- ・なお、洪水ハザードマップを確認して、保管している人は約3人に1人(約29%)という状況でした。
- ⇒**標識を浸水区域内全体に設置することで、まち全体に浸水リスク等を伝えることができます。**

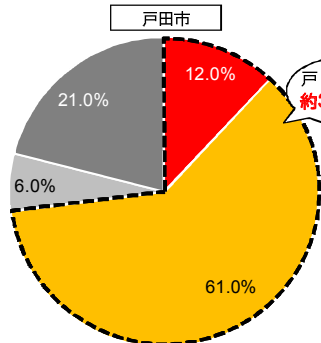
戸田市における標識設置状況



戸田市における設置標識例

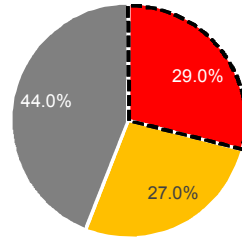


Q あなたは、「まるごとまちごとハザードマップ」という取り組みをご存知ですか。



戸田市民の
約3人に2人

<参考>
戸田市の洪水ハザードマップの確認状況



- 見たことがあり、取り組みの名前も知っていた
- 見たことはあるが、取り組みの名前は知らなかった
- 聞いたことはあるが、見たことはない
- 知らない

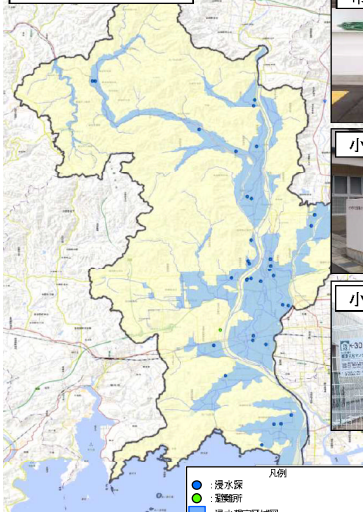
- HMを確認して保管している
- HMを確認したが保管していない
- HMを確認していない(HMを知らない人を含む)

5. まるごとまちごとハザードマップ実施のメリット④

④まち全体に浸水リスク等を伝えることができる

- ・たつの市では、市役所、学校、公民館等の**公共施設**に標識を設置しており、**市内の浸水想定区域全体に広域的に設置されています。設置数は多くありませんが(36箇所)**がまるごとまちごとハザードマップの認知度は、**約54%と住民の2人に1人が知ってる**状況です。
- ・なお、たつの市の**洪水ハザードマップの確認状況**としては、**約5人に1人(19%)が洪水ハザードマップを確認して保管している**状況でした。
- ⇒**設置数が多くなくても浸水想定区域全体に標識を設置**することで、住民のまるごとまちごとハザードマップの**認知度が高くなります**
- ⇒**公共施設**は、設置の際に外部調整が不要のため設置が比較的容易であり、**市内にも点在**していることから、**浸水想定区域全体に標識を設置する際の有効な設置場所**となります
- ⇒さらに、学校へ設置した場合には、出前講座等の防災教育にも活用できます。

たつの市 設置位置図



市役所(浸水深)



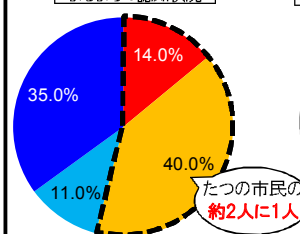
小学校(浸水深)



小学校(避難所)

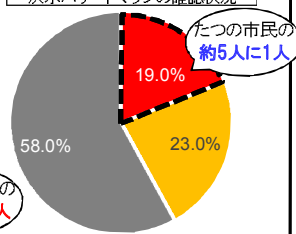


まるまつの認知状況



たつの市民の
約2人に1人

洪水ハザードマップの確認状況

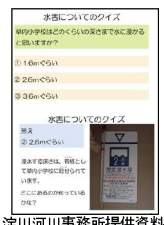


たつの市民の
約5人に1人

- 見たことがあり、取り組みの名前も知っていた
- 見たことはあるが、取り組みの名前は知らなかった
- 聞いたことはあるが、見たことはない
- 知らない

- HMを確認して保管している
- HMを確認したが保管していない
- HMを確認していない(HMを知らない人を含む)

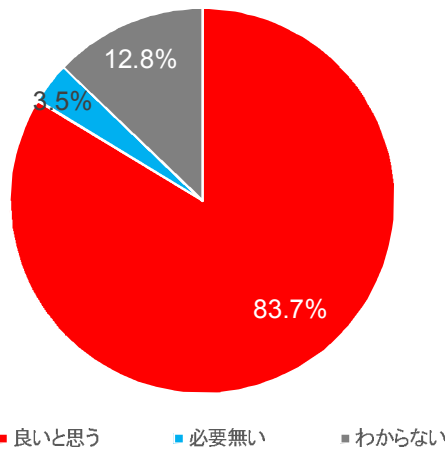
小学校に設置したまるごとまちごとハザードマップの標識を出前講座等の防災教育で活用できます。(取組事例集:事例32)



6. 住民によるまるごとまちごとハザードマップの評価

- ・まるごとまちごとハザードマップ」が実施されることについて、**約84%の人が「良いと思う」と**回答しており、取組に対して賛成の意見が多いです。
- ・また、「必要無い」と回答した人は約4%と少数であり、**標識が設置されることに対する抵抗感**は少ないようです。

Q まるごとまちごとハザードマップの取り組みが行われることについてどう思いますか。



重要水防区域

【別紙5】
(m)

		一級河川指定区間				二級河川				準用河川		その他河川	
		重要水防区域A	重要水防区域B	重要水防区域C	合計	重要水防区域A	重要水防区域B	重要水防区域C	合計	重要水防区域	合計	重要水防区域	合計
長崎振興局	右岸					43,570	17,811	33,719		14,665		49,930	
	左岸					36,316	22,322	39,181	51河川	14,665	24河川	49,930	106河川
	合計					79,886	40,133	72,900	192,919	29,330	29,330	99,860	99,860
県央振興局	右岸	5,700	11,200	35,247		12,154	18,503	49,968		4,800			
	左岸	3,200	12,400	36,047	28河川	19,354	13,097	46,274	31河川	4,800	2河川		
	合計	8,900	23,600	71,294	103,794	31,508	31,600	96,242	159,350	9,600	9,600		
島原振興局	右岸	2,400	3,200	14,449		6,260	17,743	111,444		14,320		23,401	
	左岸	1,400	1,500	13,843	8河川	7,393	15,881	112,263	57河川	14,320	8河川	23,416	22河川
	合計	3,800	4,700	28,292	36,792	13,653	33,624	223,707	270,984	28,640	28,640	46,817	46,817
県北振興局	右岸					47,156	42,648	100,681		8,739		17,692	
	左岸					41,797	58,453	90,579	67河川	8,739	10河川	17,682	32河川
	合計					88,953	101,101	191,260	381,314	17,478	17,478	35,374	35,374
田平土木 維持管理事務所	右岸					2,380	15,302	37,837					
	左岸					4,380	12,229	40,130	25河川				
	合計					6,760	27,531	77,967	112,258				
大瀬戸土木 維持管理事務所	右岸					1,000	7,362	27,768		440			
	左岸					700	3,962	31,468	15河川	440	1河川		
	合計					1,700	11,324	59,236	72,260	880	880		
五島振興局	右岸					2,100	17,856	45,021		770		550	
	左岸					1,800	13,756	49,621	23河川	770	1河川	550	1河川
	合計					3,900	31,612	94,642	130,154	1,540	1,540	1,100	1,100
上五島支所	右岸					200	2,300	13,372				5,790	
	左岸						1,600	13,996	9河川			5,740	13河川
	合計					200	3,900	27,368	31,468			11,530	11,530
壱岐振興局	右岸					900	1,400	30,279		1,599			
	左岸					500	4,900	26,357	16河川	1,599	1河川		
	合計					1,400	6,300	56,636	64,336	3,198	3,198		
対馬振興局	右岸					21,176	20,826	65,163					
	左岸					15,533	19,684	73,628	45河川				
	合計					36,709	40,510	138,791	216,010				

*現在、関係機関へR2水防計画書の照会依頼中であり、一部変更になる可能性があります。